

せっかく設定した研究授業。できるだけ効果的に先生たちの学びを深めたい。

協議会の時間は限られている。そんな時におすすめの工夫が「研究授業チャット」。授業中に気付いたこと、感じたことを各自がその場でチャットに書き込みます。授業者は授業後に皆が書いたチャットを確認します。

動画で
視聴できます



チャットの
メリット

1

気付きを共有できる

「活動前に活動後の指示も出していて良い」「板書の筆順が違う」「今のタイミングで子ども同士に相談させたら挙手が増えたかも」などの書き込みがあると、各先生が授業中に気を付けていることや工夫していることが自然と可視化され、共有されます。

チャットの
メリット

2

協議会が短くなる

書いたことは言わなくても伝わるので、協議会では助言や指摘、気付きを発言する時間が不要です。

チャットの
メリット

3

振り返りやすくなる

チャットは記入時刻が表示されるので「ここは一问一答ではなく、端的に説明した方がいい」「ここはじっくり考える時間が必要」「今の意見は理由を問いつると深まる」などの書き込みの「ここ」や「今」が、いつなのか明確です。その場で撮影した写真も貼れば、場面をイメージしやすくなります。

チャットの
メリット

4

記録に残る

協議会での発言の多くはメモしきれずに空中に消えますが、チャットは記録が残ります。後からじっくり見直し、じっくり学ぶことが可能です。

チャットの
メリット

5

子どもの実態が見える

「Aさんが首をかじげたので、もう一度説明した方がいい」「Bさんの班は何をすればいいか、指示がわかっていない」などの書き込みから、授業者が授業中に見えなかった子どもの実態をつかめます。すると「活動の指示をモニターに掲示する」など、今後の改善策も浮かびます。



チャットが効果的な研究授業

力量の高い教師が気付きや助言をたくさん書き込むと、他の参観者も授業者も多くの学びを得られます。解説者がいるとスポーツ観戦が充実するのと同じです。教育実習や、経験の浅い教師の研究授業など、**指導技術**を学ばせたい際はチャットが特に効果的です。

チャットスペースの作り方

Gmail の Spaces の「+新しいスペース」から「スペースを作成」を選択し、スペース名と、参観者のメールアドレスを入力してチャットスペースへ招待。招待された人のみチャットの閲覧と書き込みが可能です。

チャットの使い方

- Chromebookはキーボード入力なので、教室後方や廊下に机を用意すると参観者が入力しやすくなります。
- iPadはフリック入力設定なら、机が不要。
- 児童生徒アカウントではチャット機能は使えません。



注意

チャットでは言語は即時短文化。誤解が生じやすい。文字数が増える敬語表現は適さない。

- チャット上は敬語の省略可
- 怖がらずに積極的に書く
- 必ず良い点も書く
- 優しい気持ちで受け取る

をみんなで確認しておく、書きやすくなります。